

【様式】

令和 元年 学校マネジメントシート

学校名 (桑名工業高等学校)

1 目指す姿

(1) 目指す学校像		○ 生徒・教職員が一体となり、活き活きとした活気あふれる学校
(2)	育みたい児童生徒像	○ 「挨拶・身だしなみ・きれいな学校」(桑名工業三原則)が徹底され、授業はもちろん、部活動、生徒会活動、資格検定試験などに活き活きと取り組んでいる。 ○ 「地域と歩むものづくり」を目標に、「桑名版デュアルシステム」や「インターンシップ」を有効に活用し、人間性豊かな専門的職業人を目指している。
	ありたい教職員像	○ 教科指導とキャリア教育の充実に向けて、和を尊びチーム桑名工業の一員として意欲的に取り組む教職員集団。 ○ 失敗を恐れず常に前向きにチャレンジする姿勢を保ち続けられる教職員。 ○ 生徒が興味・関心を持てる授業を展開するよう、常に研究を怠らない教職員。 ○ 資格取得指導・部活動の指導や教育相談にも積極的に取り組める教職員。

2 現状認識

(1) 学校の価値を提供する相手とそこからの要求・期待	<p><生徒> 進路実現、充実した学校生活</p> <p><保護者> 生徒の進路実現、基本的な生活習慣の確立、人間性豊かな人格の形成</p> <p><地域、地元企業等> 地域で活躍できる社会性を身につけた、人間性豊かな職業人の育成</p>	
(2) 連携する相手と連携するうえでの要望・期待	<p>連携する相手からの要望・期待</p> <p><保護者、中学校関係者> 情報共有、連携、協働</p> <p><地域、地元企業等> 地域で活躍できる人材育成</p>	<p>連携する相手への要望・期待</p> <p><保護者、中学校関係者> 本校教育活動への理解、協力、情報共有</p> <p><地域、地元企業等> 本校教育活動への理解、協力、情報共有、指導</p>
(3) 前年度の学校関係者評価等	<p>○桑名工業三原則についてはよく指導されている。この状態を維持してほしい。</p> <p>○自ら学ぶ姿勢をもつ生徒の増加を期待する。</p> <p>○授業アンケートの結果をしっかり受け止め授業改善への取組を進めてほしい。</p> <p>○スマホや携帯の使用方法についての指導を充実させてほしい。</p> <p>○海外インターンシップや他校等の交流など様々な経験を生徒に積ませてほしい。</p> <p>○学校からの情報発信を充実させてほしい。</p>	
(4) 現状と課題	教育活動	<p>桑名工業三原則、コース選択のためのガイダンスや個人面談の実施、キャリア教育、進路シミュレーションなどきめ細かい指導は、問題行動の減少や進路実現に繋がっている。</p> <p>○ 業者テストの事後指導による基礎学力の定着を図る。</p> <p>○ コース選択において、興味関心や将来の進路より友人関係を優先させる生徒がいる。</p> <p>○ キャリア探究コースの発展に努める。</p> <p>○ 保護者と連携した遅刻指導の取組を充実させ、基本的な生活習慣の確立を目指す。</p> <p>○ より高度な資格へ挑戦できる指導体制の充実とクラブ活動の活性化に取り組む。</p>
	学校運営等	<p>○ 地域と歩むものづくりに基づき、地域の思いに応じた情報発信を積極的に行い、地域から愛され信頼される学校づくりを目指す。</p> <p>○ 実習・インターンシップ・学校行事などは、生徒との人間関係を結びやすく本校の強みである。より強みを生かすため、アンケート結果の活用を工夫する。</p> <p>○ 本校の教育活動をスムーズにすすめるため、校務分掌の見直し、業務負担の均等化など、チーム桑名工業で取り組むことのできる組織づくりを目指す必要がある。</p> <p>○ チーム桑名工業をベースに、総勤務時間の縮減に取り組む。</p>

3 中長期的な重点目標

教育活動	<ol style="list-style-type: none"> 1. 基礎・基本を大切に魅力ある授業づくりと、桑名工業三原則の堅持に努める。 2. キャリア教育を推進しデュアルシステムを通じ、生徒の主体的・対話的で深い学びを実現し、工業への見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行う。 3. ものづくりを通じ地域社会での発展を担う職業人として、豊かな人間性を育み、生涯の見通しをもって創造的に探究できるよう学習活動の充実を図る。 4. 基礎学力の定着と向上に努め、工業高校での指導者育成に努める 5. グローバル人材育成のため、海外インターンシップに積極的に取り組む。
学校運営等	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「情報共有と連携」をキーワードに、チーム桑名工業で取り組む組織づくりを進める。 2. 生徒と真摯に向き合い、コンプライアンスの遵守に努め、指導に専念できる明るい環境づくりに取り組みます。 3. 情熱の時間はそのままに、総勤務時間の縮減に努める。

4 本年度の行動計画と評価

(1) 教育活動

教育活動に関する項目は、児童生徒を対象としたものとするのが望ましい。

(例)「教育課程・学習指導」「キャリア教育(進路指導)」「生徒指導」「保健管理」など

また、評価項目・指標等を検討する際の視点は、学校の実態に応じて設定する。

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にします。

【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。

【備考欄について】「※」：定期的に進捗を管理する取組 「◎」：最重要取組

項目	取組内容・指標	結果	備考
魅力ある授業づくりと、桑名工業三原則の堅持	<p>(1) 魅力ある授業づくりのため、教材、指導方法について教員間で情報交換を行い授業力の向上を図ります。 【活動指標】 授業満足度調査を実施します。 【成果指標】 満足度80%以上。</p> <p>(2) 命の大切さに関する取組を実施します。 【活動指標】 LHRや面談で実施します。 【成果指標】 LHR1回以上。</p> <p>(3) 桑名工業三原則を堅持します。 【活動指標】 桑名工業三原則の意義を理解させる取組を行います。理解しているか、実行できているか確認のアンケートを実施します。 【成果指標】 生徒が理解して、実行できている状態が80%。</p>	<p>(1) 校内での課題研究発表会を通じ、各科内で情報交換や指導方法の共有理解に努め、今後の授業力の向上につなげることができた。 授業・実習満足度地アンケート結果81%</p> <p>(2) 今年度は2年生を中心に講演をしていただき、自殺予防・うつ病との関わりなど心の教育にもつながる指導ができました</p> <p>(3) あいさつ・身だしなみ・きれいな学校の三原則については社会に出る第一歩の意識が薄れ、アンケート結果からは厳しさと回数の多さの意見が多く、基準の明確化と回数については検討中である。</p>	<p>※</p> <p>◎</p>
キャリア教育	<p>(1) 生徒が進路実現に合致したコース選択ができるように支援します。 【活動指標】 コースガイダンス(2回)、系ガイダンス、実習見学会(2回)コース選択面談(4回)を実施します。 【成果指標】 生徒のコース選択満足度100%。</p> <p>(2) デュアルシステム受入企業(パートナーズ)の新規開拓を目指します。 【活動指標】 企業訪問の回数を増やします。 【成果指標】 新規開拓企業5社。</p>	<p>(1) コース選択については、予定通り、2回のガイダンス各系のガイダンス、コースガイダンスを4回実施し、希望とコースの特徴にずれがないよう行った。 アンケート調査では満足度93%</p> <p>(2) 本年度企業訪問については働き方改革の中工夫改善し回数的には50回程度になっている。 新規開拓については目標の5社の開拓ができた。</p>	<p>◎</p> <p>※</p>
海外シンパティン	<p>生徒の国際的視野を広げるとともに、グローバルな舞台で活躍する人材を育成します。 【活動指標】 海外インターンシップや海外研修等の案内を行い参加を呼びかけます。 【成果指標】 2名以上。</p>	<p>三重県の募集による海外研修1名参加 高大連携・企業との海外インターンシップについてはコロナウイルスの影響により中止</p>	
改善課題			
<p>○コンプライアンスを向上させるために学期ごとに小グループでの研修を行う。</p> <p>○総勤務時間縮減への意識を高める。実数は減っているが、総務事務システムへの適切な入力を目指す必要がある。</p> <p>○桑工安心メールの内容等を見直し、生徒の登録数を増加させる。</p> <p>○定時退校日の設定の仕方と実施率の改善が必要である。</p>			

(2) 学校運営等

学校運営等に関する項目は、教職員や施設等を対象としたものとするのが望ましい。

(例) 「組織運営」「研修(資質向上の取組)」「情報提供」「保護者・地域住民等との連携」など
また、評価項目・指標等を検討する際の視点は、学校の実態に応じて設定する。

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にします。

【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。

【備考欄について】「※」：定期的に進捗を管理する取組 「◎」：最重点取組

項目	取組内容・指標	結果	備考
情報共有と連携	<p>(1) 教職員間の情報共有を進め、チーム桑名工業で取り組めるように分掌会や学年会等の開催をふやします。 【活動指標】 学校の改善やコンプライアンスミーティング等開催します。 【成果指標】 各分掌や学年で学期ごとに1回以上。</p> <p>(2) 地域や保護者への情報発信への取組を進めます。 【活動指標】 桑工安心メールの登録数を増加します。 ホームページの内容を充実させます。 【成果指標】 保護者の登録90%、生徒の登録80%。</p>	<p>(1) 職員会議での事項書などにミニコンプライアンス紹介とミニ研修を行いコンプライアンス意識の向上につなげた。</p> <p>(2) 安心安全メールの登録 非公式lineアプリの新規活用(マイコン部)</p> <p>引き続きホームページの充実・課題研究発表会の様子のアップロード</p>	◎ ※
総勤務時間の縮減	<p>(1) 時間外労働時間の縮減を目指します。 【活動指標】 職員一人当たり月4時間縮減 【評価指標】 時間外労働時間数を年間合計で2750時間減</p> <p>(2) 休暇取得日数の増加します。 【活動指標】 職員一人当たり年1日分増加 【評価指標】 すべての職員で達成</p> <p>(3) 長時間労働の職員数の減少を目指します。 【活動指標】時間外労働者が月80時間を超える職員の減少 【活動指標】 2名以上減</p> <p>(4) 定時退校日を設定します。 【活動指標】 考查中を基本として月1~2日設定 【評価指標】 年間合計12日以上</p> <p>(5) 一週間(土日を含む)のうち生徒、部活動顧問ともに休養日とする日を設定します。 【活動指標】 一週間(土日を含む)のうち1日以上 【評価指標】 完全実施</p> <p>(6) 会議スマートルールを参考に会議時間の短縮を図ります。 【活動指標】 会議の時間は1時間以内 【評価指標】 委員会等を含む会議の85%以上</p>	<p>(1) 職員一人当たり約5時間縮減 H30 15.21時間 R1 17.26時間 9,201.52-10,181.35=2,3515.55時間増 H30 R1 (1月末時点) 適切な入力が行われてきた状況もある</p> <p>(2) h30年度 職員一人当たり約15.7日取得 令和元年度 職員一人当たり約16.3日取得</p> <p>(3) H30 100時間超 2人 80時間以上 5人 R1 100時間超 1人 80時間以上 1人</p> <p>(4) 年間15回設定 平均84%実施</p> <p>(5) 97.5%実施できた。昨年度比較+2.3%up</p> <p>(6) 89.7%達成</p>	※ ※ ※

改善課題

- コンプライアンスを向上させるために学期ごとに小グループでの研修を行う。
- 機械警備になり、総勤務時間縮減への意識を高めさせ、今後の総勤務時間縮減に向けて意識改革をさせる。
- 桑工安心メールの内容等を見直し、生徒の登録数を増加させる。
- 定時退校日の設定を増やす。
- 教職員のICT研修を行う。

5 学校関係者評価

明らかになった
改善課題と次へ
の取組方向

社会がこれまでの安定期から変化の時代が変わった。このことにより人材育成について
①「自ら学ぶ努力」のできる人材を育成する。
②IT社会の中「正しい情報を見極める力」と行動力をもった生徒の人材の育成。
③少子高齢化の中で若い世代にもものづくりへの興味を持たせる取組み。が望まれます。

6 次年度に向けた改善策

教育活動につ
いての改善策

工作機械が進化し、機械図面もこれまでの二次元から三次元となっているなど日々進化している。海外の企業の技術も向上し、企業も技術力が無いと生き残れない時代になってきている。若い時代に海外インターンシップを経験させることにより、日本の工業での立ち位置に気づき、アジアの中でもものづくりを継承できる人材育成を目指す必要がある。